

令和3年5月20日から21日にかけての梅雨前線による大雨について (和歌山県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

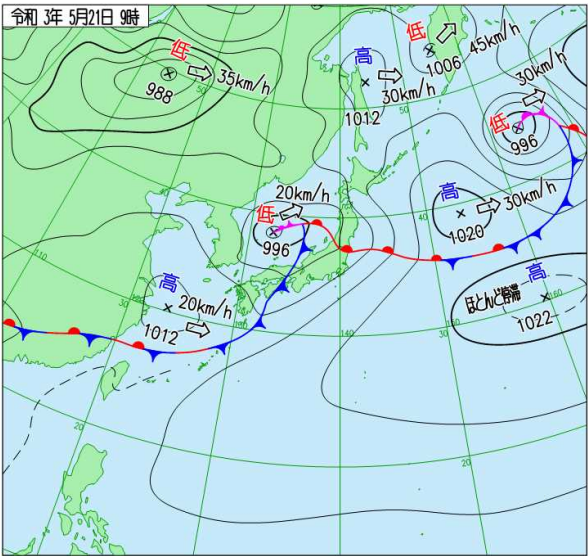
概要

梅雨前線上に発生した低気圧が日本海を東北東に進み、西日本には暖かく湿った空気が流れ込んだため、和歌山県では大気の状態が非常に不安定となり、山地を中心に大雨となりました。降り始めの20日06時から21日24時までの総雨量は、田辺市護摩壇山で283.0ミリ、田辺市龍神で247.0ミリを観測しました。21日には田辺市護摩壇山で日降水量161.0ミリ、日最大1時間降水量43.5ミリを観測し、5月としての極値を更新しました。

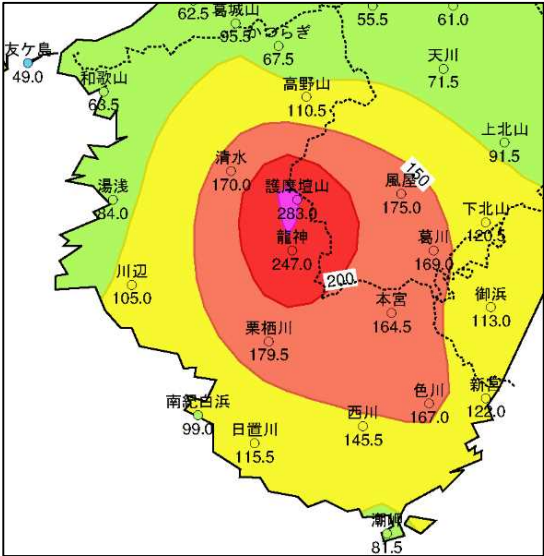
和歌山県と和歌山地方気象台は、土砂災害警戒情報を印南町、みなべ町、田辺市田辺に発表して嚴重な警戒を呼び掛けました。また、日高川に氾濫注意情報を発表しました。

この大雨により、和歌山市で120件、海南市で370件の停電が発生した他、南紀白浜空港を離発着する航空機2便の欠航がありました。また、みなべ町全域に避難指示、田辺市田辺全域に高齢者等避難が発令されました。

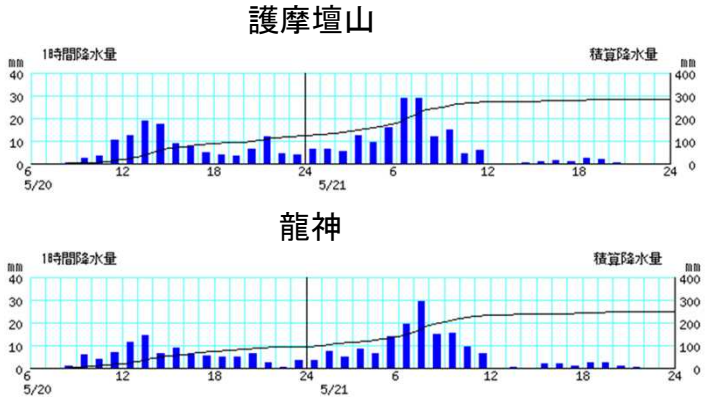
【被害状況：21日15時40分現在、和歌山県調べ】



5月21日09時 地上天気図



降水量分布図(5月20日06時～21日24時)



降水量時系列グラフ(5月20日06時～21日24時)

※横軸は時刻を示す。
※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す(単位mm)。